

【Plan】計画 / 【Do】実施																	【Check】評価 / 【Action】改善													
施策名	事業名	事業・取組概要	事業評価の活動指標(目標・実績)									事業評価の成果指標(目標・実績)						H29年度	H30年度			事業成果の評価		予算・コストの評価		見直しの方向性(担当者評価)				
			指標名等		H29年度			H30年度			指標名等		H29年度			H30年度			決算額 (千円)	予算額 (千円)	決算額 (千円)	成果向上 余地はあるか	評価の理由	コスト削減余 地はあるか	事業 評価	1次評価(担当者評価)		2次評価		
			指標	単位	目標	実績	達成率	目標	実績	達成率	指標	単位	目標	実績	達成率	目標	実績	達成率							事業評価	評価の理由	R2年度予算要求の方向性		所属長評価	
農業の 振興	農地中間管理 事業推進事務	農地中間管理機構(佐賀県農業公 社)からの委託事業 農地中間管理事業推進員(囑託職 員)を配置し、農業者からの農地の貸 付・借受希望の相談・申し出の受理や 貸借の調整を行う。また、貸付農地や 借受者の掘り起こしのために現地調査 を行い、農地貸借を推進させる。 調整後、貸付者と公社との利用集積 計画及び公社と借受者との利用配分 計画を作成し、農地中間管理機構に提 出。 ※佐賀県知事の承認を受ける。	借受希望 受付人数	人	7	37	529%	10	24	240%	借受希望 農地貸借 成立人数	人	7	27	386%	7	33	471%	2,882	2,898	2,882	中	貸付希望者(出し手) は多くいるが、借受希 望者(担い手)の望む平 地で耕作しやすい広い 優良農地が少ない。 また、既に農地を借り ている担い手は、新た な農地を借り受けるこ とが厳しくなっており、新 しい担い手を探す必要 があるため、成果の大 幅な向上は難しい。	なし	囑託職員の人件費や 用紙等の消耗品費、コ ピー機使用料等の最小 限のコストで行ってい るため、これ以上のコスト 削減はできない。	維持	農地の集積・集約化 は、担い手の経営合理 化や生産性の向上に貢 献するもので、新たな 担い手を探し農地の有 効利用を行うには必 要。 また、遊休農地を減ら すための手段として、今 後も継続して進めてい く。	この事業を行うには、農地に精 通した職員が必要であり、農家と の信頼関係、農地の利用状況等 を把握することが重要である。 そのため、人件費及びこれに 係る経費を要求する。 なお、財源は佐賀県農業公社 からの受託事業収入で対応す る。	維持	農業経営の規模拡大や農地利 用の効率化・高度化の促進を図 るため、法に基づき関係機関・団 体が連携・協力して実施している 事業であるため、今後も継続し て進めていく。